



西会津小だより

6月号

No.15

【教育目標】
心身ともにたくましく、
未来を生き抜く児童
令和3年 5月28日(金)
文責：校長 博多弘泰

あいさつ

5月中旬の朝、ある地区の登校班の集合場所に行くと、1年生児童が保護者の方に連れられて来ました。保護者の方は、子どもに「あいさつちゃんとするんだよ。」と言って見送って行きました。すると児童は、私に、登校班の班長に、そして、しばらく歩き交通安全指導員の方に「おはようございます」としっかりとあいさつをしていました。

子どもたちは、安全を見守りながら一緒に歩いてくださる見守り隊の方、役場前交差点や中学校の駐車場付近で安全な横断を見守ってくださる交通安全指導員の方、中学校の敷地内で立ってくださる中学校の先生方、交通事故に気をつけ安全に送り届けてくださるバスの運転手の方などに毎日大変お世話になっています。また、その方々は、いつも子どもたちに「おはよう」（「頑張ってきてね」の気持ちが込められた）と声を掛けてくださっています。安全に登校できるのも、その方々のおかげであり、そのことに対して「いつもありがとうございます」という感謝の気持ちを込めた「おはようございます」のあいさつがとても大切だと思います。

学校経営ビジョンのめざす児童像に、「強く優しい心をもつ児童」を掲げています。「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」子どもになって欲しいという思いを込めました。そのためには、まず、あいさつができることが大切だと考えます。相手の存在を認め、相手が大切だと思うから、あいさつをするのだと思います。学校・地域で、相手の目を見て、マスクの中で笑顔をつくって、明るい声であいさつができる西会津小をめざし、日々取り組んでいきます。



学校の推進エンジン



西会津小学校は、昨年度から学校運営協議会を設置し、コミュニティースクールとなりました。5月11日(火)に、今年度の第1回学校運営協議会全体会(小・中合同)が行われました。これからの子どもたちは、従前以上に予測困難な時代を生きていかなければなりません。そこで求められる資質・能力を子どもたちに育むために、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組むことが求められています。その意味で、学校運営協議会が学校の推進エンジンとなり、「地域とともにある学校づくり」を進めていきたいと考えます。昨年度の反省から、学校運営協議会の支援について明確になりましたので、授業参観や行事等を通して意見を述べていただき、学校運営の改善を図っていきます。

田植え(5・6年生)

5・6年児童は、5月26日(水)JA会津よつば青年連盟北地区西会津支部(青年部員)の方々の指導を受け、田植え体験を行いました。体験の目的は、地域の食料生産を実際に体験することで、子どもたちが食と農への関心を深めることです。青年部員の方々から手ほどきを受けながら、苗植えに挑戦しました。初めは、田んぼのぬかるんだ土に悪戦苦闘し、足が深く埋まり抜けなくなる様子が見られましたが、次第に慣れ、真剣な表情で前へ前へ進むことができました。今後、稲刈り体験やJA米倉庫見学等を行う予定です。コロナ禍の中ですが、子どもたちのために忙しい中時間を割いて指導していただいた青年部員の方々に感謝申し上げます。



6月の行事予定

2日(水)避難訓練(不審者対応)

教育実習(～6月30日)

7日(月)プール開き

10日(木)新体力テスト 内科検診(1～3年)

13日(日)奥川・新郷リサイクル

14日(月)～18日(金)朝食を見直そう習慣運動

16日(水)～18日(金)教育相談

21日(月)教育相談

24日(木)教育相談

27日(日)群岡リサイクル

28日(月)心電図検査(1・4年)

